



# 九州歯科大学 図書館だより NO.93

ダーウインの番犬(Darwin's Bulldog)の異名で知られるハクスレーは“Try to learn something about everything and everything about something”そして「人間は考える葦である」で有名なパスカルは“It is much better to know something about everything than to know everything about one thing”という言葉をそれぞれ残しています。さあ、図書館で“something about everything”を身につけましょう。

図書館運営部会 吉野 賢一



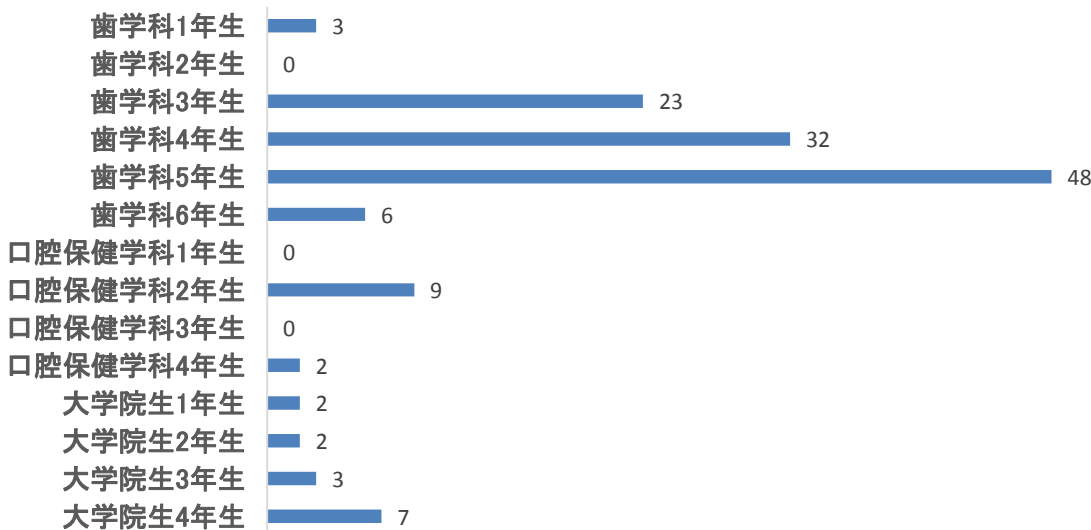
## 貸出ランキング

2018.2



- 1位 歯科衛生士のための主要3科+臨床歯科医学問題集, 全国歯科衛生士教育協議会編
- 2位 歯科理工学入門 第2版, 小園凱夫編
- 3位 口腔外科学 第3版, 白砂兼光, 古郷幹彦編
- 4位 公衆衛生がみえる 2016-2017 第2版, 医療情報科学研究所編
- 5位 成功する歯周組織再生治療: 歯を保存するために (歯界展望:別冊), 和泉雄一, 二階堂雅彦, 松井徳雄編著
- 6位 現代歯科理工学, 長谷川二郎, 平澤忠, 高橋重雄編集
- 7位 新編歯科理工学 第2版, 住井俊夫編著
- 8位 補綴臨床 109回国試突破version (Dr.加藤の国試合格ノート:4), 加藤和英著
- 9位 歯科技工士のための歯科理工学・鑄造学実習 第2版
- 10位 咬合は変わったか (別冊the Quintessence. 咬合yearbook:2016), 古谷野潔監著/山崎長郎, 前田芳信編著

## 貸出冊数(2月)



# 第7回選書ツアー一紹介本

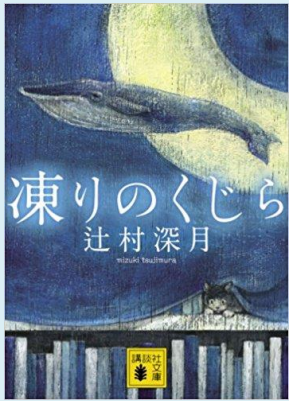


「あなたは、誰かの大切な人」 原田マハ

暖かい気持ちになれる短編集でした。人の別れや愛する人への思いなどが繊細に描かれていたと思います。「月夜のアボカド」で描かれていましたが、人の一番の幸福は家族など恋人など友達など、自分が好きな人と一緒に過ごすことなのかもしれません。大好きな人と食卓で向かい合って、おいしい食事とともにする。笑ってしまうほど単純でかけがえのないささやかなこと。それこそが本当は何にも勝る幸福なのだと感じました。この本は短編集かつ全体で200ページ程の本なので、ぜひ気軽に手に取ってみてください。



『凍りのくじら』 辻村深月



『ぼくにとっての「SF」は、サイエンス・フィクションではなくて、「少し不思議な物語」のSF（すこし・ふしぎ）なのです』とドラえもんの作者である藤子・F・不二雄は遺している。

主人公の理帆子は人の個性に名前をつける、スコシ・ナントカという遊びをしていた。入院している母親は「少し・不幸」であり、何の制約も受けない奔放な友人は「少し・フリー」である。理帆子は初対面の男性ともそつなく会話できるような理知的さをもつ一方で、自分のことを「少し・不在」だと感じていた。「少し・不在」な彼女の性格から事件が起こってしまうが、そのときに助けてくれたのは「少し・フラット」な「少し・不思議」な少年であった。

たくさんのドラえもんのひみつ道具がでてくるSF（すこし・ふしぎ）なお話です。

『アキラとあきら』 池井戸潤

これはすごい！

『アキラとあきら』は文庫で705頁。ずっしりの重量感。

人生で一番分厚い文庫だった。

昨夏はテレビでもドラマが放映された模様。

テレビなし暮らしの私が選書ツアーで一番読みたかった本だった。

お話は2人のあきらの30年間。境遇に大きな違いがある2人だ。

読み応えあり圧巻！長篇小説だがあっという間に読めた。

池井戸作品は本作で4作目。

『下町ロケット』『花咲舞が黙ってない』『陸王』そして本作品。

いずれも活字を脳内映像化した。

私は『アキラとあきら』が一番好きだ。

スリリングな展開に目が離せなかった。

いくつかの伏線もありドラマの脚本としても秀逸だ。

細かい内容に触れるとネタバレで読書意欲を削がれてはいけない、という老婆心。

池井戸作品ファンの方々、そうでない方にも是非お勧めしたい。

